

**令和6年度**

**柏市教育行政重点化方針**

**柏市教育委員会**



## 教育行政重点化方針の概要

『令和6年度柏市教育行政重点化方針』は、令和6年度において特に優先順位が高く、かつ先導的に実施する取組について重点事業を示したものです。変化の激しいこれからの社会において、より良い教育行政を運営するためには、中長期的な視点で計画的に教育課題解決に向けた諸施策を展開することが必要です。柏市教育委員会では、子どもの教育並びに生涯学習、文化及び図書館の各分野について、第2次柏市教育振興計画、第4次柏市生涯学習推進計画、第五次柏市芸術文化振興計画及び柏市図書館のあり方において、中長期的な視点からの目指す方向性や施策を示しています。また、教育に関する事務の点検・評価を毎年度実施し、達成状況や課題、改善方策等を導き出しています。

柏市教育委員会では、各計画等の方向性及び施策並びに教育に関する事務の点検・評価の結果などを踏まえ、『令和6年度柏市教育行政重点化方針』を定めました。

# 目 次

1	令和6年度 重点化方針	1
2	令和6年度 施策体系別重点事業	9
I	未来につなぐ柏の教育	
	施策体系外の重要な取組	12
	施策展開の方向1 学ぶ意欲を育成する	13
	施策展開の方向2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる	19
	施策展開の方向3 教職員の力量・学校の組織力を高める	27
	施策展開の方向4 地域・家庭とともにある学校をつくる	29
II	笑顔と元気が輪となり広がるまち柏	
	目指す方向性	
	・子どもたちが健やかに成長するように	
	・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように	
	・すべての人が学べる環境に包まれるように	31
III	文化の薫るまちづくり	
	施策展開の方向1 身近に感じる芸術文化と活動の推進	33
	施策展開の方向2 歴史資料・文化財の保存と活用の推進	35
IV	図書館サービスの充実	
	施策展開の方向 「学び・共有・創造活動」の支援を通じて、「ひと」と地域を育む	37
V	その他	39
3	令和6年度柏市一般会計当初予算における教育費の概要	40

## 1 令和6年度 重点化方針

令和6年度に教育委員会が重点的に取り組む事業についてまとめたものです。

### 施策体系外の重要な取組

#### (1) 次期教育振興計画の策定

現計画期間が令和7年度までとなっている第2次柏市教育振興計画について、令和6年度から2か年をかけて、次期計画の策定を行います。

令和6年度は計画策定のためアンケート調査を実施し、課題把握を進めます。現在策定中の新総合計画との整合性を図り、また、より良い教育環境を実現するための柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針をベースとして課題解決に向けた具体的な事業活動を示す計画となるよう、策定作業を進めます。

#### (2) 柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針の策定

今後見込まれる児童生徒数の変化や今日的な教育課題を踏まえ、「より良い教育環境の確保」と「教育の質の向上」を図ることを目的として、将来的な新しい学校のあり方を示した「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」の策定に取り組んでおります。

多面的に検討を進めるにあたり、令和5年10月には学識経験者や学校長、PTA関係者、学校運営協議会関係者、公募市民等を構成員とした「柏市教育政策審議会」を設置し、教育現場が直面する課題及びこの先の学校のあり方について幅広く審議を重ねており、令和6年度末に答申を受ける予定です。

#### (3) 柏中学校区義務教育学校の設置

柏市では、これからの時代に求められる質の高い教育を実現すべく、義務教育9年間を見通した一貫した学びと指導により、小学校と中学校のギャップの緩和を始めとした様々な教育上の効果が期待できる「小中一貫教育」について、検討を進めていきます。

現在の柏中学校敷地内に柏第一小学校、旭東小学校を移転し、小中一貫教育を行う義務教育学校の設置に向け、保護者や地域住民を対象とした説明会を開催しており、今後は学校関係者等による協議体の設置も検討し、多様な意見を参考としながら、より良い学校づくりに努めていきます。また、令和6年度からは、新たに市内の協力校8校を中心に、小中一貫教育の実現に向けた学校間の連携の在り方等について、さらなる実践や検討を深めていきます。

#### (4) 体育館空調設備整備事業

近年の温暖化に伴い、授業や部活動中の熱中症対策及び避難所の機能強化の観点から、中学校21校及び小学校41校の体育館に空調設備を整備します。

令和6年度は、中学校については別途工事計画のある1校を除く20校における工事、小学校については41校分の工事設計に着手していきます。

#### (5) 公立中学校標準制服導入推進事業

SDGs や多様性への配慮，寒暖対応や衛生面等の機能性の向上，制服リユースのしやすさに伴う家庭負担の軽減等を目的として，令和7年度より，柏市立中学校の学生服において，既存制服に追加する新たな選択肢として，ブレザータイプの「柏市標準制服」を導入し，各校で採用を検討できるようにいたします。

また，教育委員会では，校長会と協同で学校現場を支援し，令和6年5月以降を目途に，生徒モニター制度を実施していきます。これは，希望する生徒500人にサンプル品となる「プレ標準制服」を無償で配布し，「制服の見直し」への生徒や保護者の直接参画や，多様性で悩む生徒への早期対応を目的としています。

## 学ぶ意欲の育成

### G I G Aスクール構想<sup>1</sup>によるICT利活用の推進

1人1台端末及びネットワーク等の整備を行い，令和3年度から学習活動の一層の充実や「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を目指すG I G Aスクールを開始し，ICTの活用を段階的に進めてきました。

令和5年度は「教科での学びを深める」ことを目標とし，学習の基盤となる情報活用能力の育成に焦点を当てて取り組み，令和6年度からは，その身に付けた情報活用能力を発揮しつつ，教科横断的な視点を持った探究的な学びの実現を目標に，新たに取り組んでいきます。

引き続き，学校へのサポートとして各学校に常駐するIT教育支援アドバイザーを適切に配置するとともに，デジタル教材等のさらなる活用を進めていきます。

また，ICTの環境整備等を所管するICT推進室の機能を指導課に集約し，ICTを活用した学習指導等に係る指導・助言の充実，及び環境整備との一体的推進を図るほか，令和7年度に予定しているG I G Aスクール端末の更新に向けた準備を行います。

<sup>1</sup> G I G Aスクール構想：児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに，並行してクラウド活用推進，ICT機器の整備調達体制の構築，利活用優良事例の普及，利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで，多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない，公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。G I G AはGlobal and Innovation Gateway for Allの略

### (1) SNS相談業務委託

各学校では、児童生徒に不安や悩みがあった際に相談できる様々な窓口を周知しており、中でもいじめや友人トラブルについて、柏市では、第三者に匿名で報告・相談できるアプリケーションとして、『STANDBY<sup>2</sup>』を提供しています。

相談件数は令和3年度までは130件前後、令和4年度はおよそ400件の相談、チャットのやりとりは2,000件を超え、大幅に増加している状況となっております。

相談内容は、いじめ、部活動、ネットトラブル、教員の指導、家庭生活、学習、学校生活、友人関係、身体的な悩みなど、現在はいじめ以外にも多岐にわたる相談内容があり、より専門的知見を踏まえた対応が求められる状況となりました。

これらの現状を踏まえ、令和6年度より、『STANDBY』SNS相談業務を対応能力の強化を図るため、事業委託します。

委託により、現状のニーズに合わせ、幅広い相談内容への専門的知見による対応と、対象児童生徒の拡大を図り、児童生徒の不安や悩みの早期発見、早期対応に努めます。

### (2) スクールソーシャルワーカー<sup>3</sup>及び個別支援教員（生徒指導・不登校支援）<sup>4</sup>の配置

不登校児童生徒への多角的な支援と、教育機会の確保を実現するため、教育相談体制の充実を図っていきます。

学校においては、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの配置を引き続き行います。不登校支援のみならず、児童虐待、ヤングケアラー、貧困等の環境に起因する児童の権利侵害に対しても、福祉部門と連携しながらその支援の中核として機能させていきます。

市内各中学校においては、校内教育支援センター<sup>5</sup>へ個別支援教員を配置し、いわゆる「別室登校」をしている児童生徒に対する教育機会の確保に努め、学校内における教室以外の「居場所づくり」に努めていきます。

学校外においては、教育支援センターを設置し、不登校児童生徒への学習支援の

<sup>2</sup> STANDBY：匿名で教育委員会にスマートフォンやパソコン等でいじめ等の報告、相談できるアプリ。1人1台端末による利用も可能。

<sup>3</sup> スクールソーシャルワーカー：教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた環境に様々な方法で働き掛けて支援を行う市費配置の会計年度任用職員

<sup>4</sup> 個別支援教員（生徒指導・不登校支援）：市立中学校において、問題行動を起こしたり、非行傾向があったりする生徒への個別支援及び不登校などの理由で別室登校している生徒への学習指導や学級復帰につなげるための支援を行うため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

<sup>5</sup> 教育支援センター：何らかの理由で学校に行くことのできない長期欠席児童生徒を対象に、児童生徒の家庭と学校以外の居場所として、実態に応じた教育相談や学習支援等を行う施設。きぼうの園を中心とし、令和5年度からは北部地区に柏たなか、中部地区に豊四季台、南部地区に増尾台、東部地区に大津ヶ丘の教育支援センターを開設しています。

他、心の拠り所としての「居場所づくり」に注力していきます。

### (3) 医療的ケア看護師及び教育支援員<sup>6</sup>の配置

特別支援学級在籍児童生徒数は増加の一途をたどり、「自立」と「社会参加」へ向けた支援が求められています。学校では、特別支援学級を中心に、特別な支援を要する児童生徒の学習及び生活について、担任の補助的な業務を行う教育支援員の配置数を拡充し、今後もきめ細やかな支援を行います。

また、小中学校における医療的ケア体制整備の充実に向けて、児童生徒の状況に応じた、医療的ケア看護師の配置や訪問看護ステーションとの委託契約を進めます。

### (4) 就学援助制度の拡充

本市では、これまでも、クラブ活動等費の新設や、PTA会費の支給上限額の撤廃等、制度の充実を図り、また令和4年度から導入した電子申請により、申請者の利便性の向上を図ってきました。

令和6年度には、ひとり親世帯や昨年の収入が基準額を下回る世帯のみならず、市外にお住いのかたを含め、世帯のかたの失業や傷病といった特別な事情を有する世帯まで、電子申請の範囲を拡大し、更なる申請の利便性の向上と学校事務員の負担軽減を図っていきます。

### (5) 教室不足対応事業

近年の開発により人口が増加している地域の小中学校について、推計上、将来的に既存の校舎のみでは児童生徒の受け入れが困難となることから、増築校舎を整備します。

現在施工中の田中中学校の増築校舎については、令和5年度に引き続き工事を進めます。

柏の葉小学校については、通学区域内のマンション建設計画や今後の住宅開発の影響を踏まえ、新たな増築校舎を整備するための設計に着手します。

また、柏第七小学校についても、豊四季台団地再生事業による児童数の増加により教室不足が見込まれるため、新たな校舎を賃貸借にて整備します。この仮設校舎賃貸借の契約に向けた事務を令和6年度から進めます。

このほかの各市立小中学校においても、必要な教室数を確保するための各種の整備に取り組んでいきます。

### (6) 校舎等老朽化対策事業及び学校施設整備計画の改定

柏市立学校施設個別施設計画に基づき、施設の老朽化対策を進めています。

---

<sup>6</sup> 教育支援員：特別支援学級に在籍する児童生徒を中心に、生活及び学習の全般的な支援を行うため、市費により配置する会計年度任用職員。また、通常の学級に在籍する児童生徒に対して必要に応じた支援も部分的に行います。



校舎の長寿命化改良事業については、令和5年度に引き続き高田小学校の設計を実施します。また、現在施工中の西原小学校に加え、令和6年度から柏第四中学校の工事に着手します。

また、屋内運動場の長寿命化改良事業として、設計及び工事それぞれ2校ずつ実施します。

校舎の大規模改修事業については、土南部小学校と富勢中学校の設計に着手し、工事については、柏第四小学校と柏第五中学校において実施します。

なお、柏市立学校施設個別施設計画については、平成31年3月の策定から5年近くが経過し、また、第一期の最終年度である令和7年度を目前としていることも踏まえ、令和6年度から「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」と並行して計画の見直し業務を実施し、同方針をベースに策定していきます。

## (7) 学校給食施設の改修及び更新

義務教育期における食育は、心身の成長や人格の形成に大きな影響を及ぼすものであることから、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を安定的に提供することは大変重要です。このため、今年3月に改訂する「柏市学校給食将来構想」及び同3月に策定する「柏市学校給食施設整備計画」に基づき、老朽化した学校給食センターの移転整備を進めるとともに、各学校の調理場の改修や再整備を計画的に進めます。また、同じく3月に策定する「柏市学校における食育方針」に基づき、学校給食を効果的に活用しながら様々な学校活動と連動させて「食べる力」「豊かな心」「郷土愛」を育てていきます。

一方で、学校給食費については、物価高騰の中でも、子どもたちの成長に必要な栄養価を確保するとともに、食育を推進する上で欠かすことのできない多様な献立を提供していくため、やむを得ず、平成21年度以降据え置いてきた価格を改定いたしますが、現下の厳しい経済状況を鑑み、保護者の皆様の経済的負担の軽減として、公費負担による支援を昨年度に引き続き実施していきます。

## (8) 学校給食費の公会計化

学校給食費の徴収・管理に係る教職員の負担を軽減するとともに、保護者の利便性の向上を図るため、令和7年度の導入を目指し、学校給食費の公会計化に向けた準備を進めていきます。

# 教職員の力量・学校の組織力を高める

## (1) 教職員研修の充実

柏市では柏市人材育成指針・指標及び研修評価を見直しました。この改訂をもとに、教職員の実態や課題に応じた、教員一人一人が資質能力を着実に高めていくこ

とを目指して、体系的かつ効果的・効率的な教員研修の実施に向けて取り組みます。

令和6年度においては、教員等の経験年数や職位等のキャリアステージに応じた研修をはじめ、ICT活用や危機管理等の今日的な教育課題に対応した研修を実施するなどの工夫改善を図るとともに、各学校の「ありたい姿」を明確にし、教育課題を解決するために必要なマネジメント力の育成を目指して、より実効性のある研修を実施していきます。

## (2) 部活動地域移行

柏市は、全国に先駆け、令和5年9月から柏市立全中学校を対象に地域移行を開始しました。

大きな目的は、教員の時間外勤務の削減と子どもたちの継続的な活動環境の確保の2点ですが、超過勤務の改善や、活動に対する満足度調査において、一定の成果が現れています。

次年度は、音楽室の使用が可能となるよう校舎内セキュリティーを整備するなど準備を進め、吹奏楽部、陸上競技部についても地域移行を開始します。

これにより、休日に活動のあった部活動すべての地域移行が完了となります。

中核市において、全市を対象に地域移行が推進されている事例がないため、多くの自治体に視察していただいておりますが、次年度以降、各地で地域移行が進んでいくものと想定しています。

今後、部活動にはない新たな種目のクラブも創設に向けて準備が進んでおり、子どもたちの選択肢がより一層増加することが期待されます。

また、経済的理由により、活動に参加できないということが起こらぬよう困窮世帯への参加費支援についても併せて準備しています。

事業を開始したことで明らかになった課題もあるので、内容を整理し、地域に根付いたより良い活動環境が提供されるよう継続して改革に取り組んでいきます。

## 地域・家庭とともにある学校づくり

### (1) 子ども・子育て支援複合施設「TeToTe」

柏市では、乳幼児から中高生世代の若者まで全ての世代の子どもたちと妊娠・子育て家庭が利用できる総合的な施設の整備を進めており、この中で教育委員会では、子どもたちが安全・安心に自由に過ごせる居場所として「こども図書スペース」と「中高生世代の居場所」の事業を予定しております。

令和6年度は施設の改修を行い、年内の開所を目指して必要な準備を進めていきます。

## (2) 放課後子ども教室推進事業

放課後子ども教室推進事業は、現在の補充学習支援を目的としたステップアップ学習会を含めて、子どもがより自分らしく過ごせる居場所型事業に移行していきます。

家庭，学校に次ぐ第三の環境として，放課後の安全・安心な居場所の提供について，こどもルームの整備計画とも整合を図りながら，進めていきます。

## 文化の薫るまちづくり

### (1) 身近な芸術文化体験の充実

芸術文化事業については，第五次柏市芸術文化振興計画に基づき，「誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり」を目指し事業を展開しています。

コロナ禍において開始した事業であるアウトリーチコンサートについては，市内地域の様々な場所を活用し，音楽を身近に感じてもらえるような取り組みを引き続き進めていきます。

様々なジャンルの音楽に触れ，より多くの皆様に楽しんでもらいながら「音楽の街かしわ」の魅力を創造していきます。

また，アート関連事業につきましては，市制施行70周年に向けた市所蔵美術品の企画展示を行っていきます。

### (2) 文化財の保存と活用

柏の先人たちが築いてきた貴重な文化財を次の世代につないでいけるように，今年度，文化庁から認定をうけた柏市文化財保存活用地域計画に基づき事業を展開していきます。

保存につきましては，市所有の文化財である旧吉田家住宅の茅葺屋根の葺き替え工事や旧根戸分署の防水工事を行い，文化財を適切に維持管理していきます。

また，推進体制として多様な主体で構成される計画推進協議会を立ち上げたところであり，関係団体・市民との協働による連携事業の推進，新規文化財活用事業の検討を行っていきます。

## 図書館サービスの充実

### 図書館柏の葉サービスカウンターの設置

柏の葉地域の住民の利用が想定される田中分館では，貸出冊数と登録者の増加が続いており，柏の葉キャンパス駅周辺への図書館機能整備の要望も多く寄せられています。

このため，ららぽーと柏の葉本館4階に，インターネット等で予約した本の受け

取りや返却ができるサービスカウンターを設置し，利便性の向上を図っていきます。  
なお，開設時期は，令和6年10月ごろを予定しています。

## 2 令和6年度 施策体系別重点事業

### 施策体系

#### I 未来につなぐ柏の教育

施策展開の方向	取組の方向
1 学ぶ意欲を育成する	1 分かる授業の推進
	2 英語教育の推進
	3 ICTの利活用の推進
	4 学校図書館の活用
	5 運動能力・運動習慣の維持及び向上
	6 健康教育の充実
	7 市立高校教育の推進
2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる	1 情報モラル教育の推進
	2 道徳教育の充実
	3 いじめ防止対策の推進
	4 不登校等児童生徒への支援の充実
	5 特別支援教育の推進
	6 幼保こ小連携の推進
	7 保護者の経済的負担の軽減
	8 外国籍の子ども等に対する支援
	9 学校規模の適正化
	10 学校施設・設備の維持管理
3 教職員の力量・学校の組織力を高める	1 教職員の育成
	2 働き方改革の推進
4 地域・家庭とともにある学校をつくる	1 学校・地域・家庭の連携

#### II 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

目指す方向性	取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが健やかに成長するように</li> <li>・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように</li> <li>・すべての人が学べる環境に包まれるように</li> </ul>	「はじめるきっかけ」を支援
	「もっと知りたい、つながりたい」を支援
	「ひろく伝えたい」を支援
	情報提供による学びの支援

### Ⅲ 文化の薫るまちづくり

施策展開の方向	施策
1 身近に感じる芸術文化と活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり</li> <li>・芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏らしさを活かしたまちづくりの推進</li> <li>・芸術文化振興のための環境づくり</li> </ul>
2 歴史資料・文化財の保存と活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の調査及び保存と活用の推進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市史編さん事業の推進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料・文化財に接することができる場と機会の提供</li> </ul>

### Ⅳ 図書館サービスの充実

施策展開の方向	施策
「学び・共有・創造活動」の支援を通じて、「ひと」と地域を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学びを支援する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとづくり・地域づくりを支援する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信・DXの推進</li> </ul>

## 1 ページの構成

<b>I 未来につなぐ柏の教育</b>		<p style="text-align: center;"><b>「施策展開の方向」及び「施策」</b></p> <p>教育委員会の中長期的な施策について、基本的枠組みと内容を示します。</p> <p>「I 未来につなぐ柏の教育」及び「II 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏」の施策展開の方向と施策は、それぞれ『第2次柏市教育振興計画』及び『第4次柏市生涯学習推進計画』に基づいています。</p> <p>IIIについては、『第五次柏市芸術文化振興計画』を踏まえて、この柏市教育行政重点化方針において設定したものです。</p> <p>IVについては、『柏市図書館のあり方』を踏まえて、この柏市教育行政重点化方針において設定したものです。</p>
<b>施策展開の方向1 学ぶ意欲を育成する</b>		
<p>【令和6年度重点事業】</p> <p>取組の方向1-1 分かる授業の推進</p>		
<b>事業名</b>	<b>内容</b>	
みんなでつくる魅力ある学校の実施による授業力の向上	<p>全国学力・学習状況調査及び柏市学力・学習状況調査の結果から、生徒のつまづき方を分析し、教員の向上に向けて、授業公開を行います。</p> <p>【指導課、児童生徒課、教育研究課】</p>	—
「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善の実施	<p>1人1台端末や3面ボードを活用した授業の実践を通して個別最適な学びや協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。</p> <p>【指導課】</p>	—

## 2 凡例

- (1) 内容欄の「○名分」：○名分を配置するのに必要な予算を確保しているという意味です。実際の配置においては、1名分の予算を分割し、週2日勤務を1名・週3日勤務を1名といった配置になることがあります。
- (2) 内容欄の「○名」：実際に、○名を配置します。
- (3) 予算額欄の「—」：予算額が0のものです。
- (4) 予算額欄の「…」：予算額を公表していないものです。

## I 未来につなぐ柏の教育

### 施策体系外の重要な取組

#### 【令和6年度重点事業】

事業名	内容	予算額 (千円)
柏中学校区義務教育学校の設置 (新規)	校舎の老朽化が進んだ柏第一小学校への対応及び様々な教育課題の緩和を目的として、現在の柏中学校敷地内に柏第一小学校、旭東小学校を移転し、令和10年度の開校を目途として、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を実践する義務教育学校の設置に取り組みます。 令和6年度には、保護者等を対象とした説明会の開催や地域協議会の設置等を通じて、学校関係者との意見交換を実施し、それらの意見を参考とした施設の基本設計を実施します。【教育政策課、教育施設課】	179,863
小中学校体育館の空調設備の整備	近年の温暖化に伴う熱中症対策及び避難所の機能強化対策として、小中学校の体育館における空調設備の整備を進めます。【教育施設課】	1,636,000
公立中学校標準制服導入推進事業	SDGsや多様性への配慮、寒暖対応や衛生面等の機能性の向上、制服リユースのしやすさに伴う家庭負担の軽減等を目的として、令和7年度より、柏市立中学校の学生服において、既存制服に追加する新たな選択肢として「柏市標準制服」を導入し、各校で採用を検討できるようにします。 柏市では、校長会と協同で学校現場を支援し、令和6年度に「生徒モニター（プレ標準制服）」を実施。令和6年5月以降を目途に、希望する生徒に無償で配布し、「制服の見直し」への生徒の直接参画や、多様性で悩む生徒への早期対応を目的とします。【学校教育課】	13,871



## 施策展開の方向 1 学ぶ意欲を育成する

### 【令和6年度重点事業】

#### 取組の方向 1 - 1 分かる授業の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
みんなでつくる魅力ある学校 <sup>7</sup> の実施による授業力の向上	全国学力・学習状況調査 <sup>8</sup> 及び柏市学力・学習状況調査 <sup>9</sup> の結果から、児童生徒のつまずき方を分析し、教員の指導力向上に向けて、授業公開を行います。 【指導課，児童生徒課，教育研究所】	—
「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善の実施	1人1台端末や3面ボードを活用した授業 <sup>10</sup> の実践を通して個別最適な学びや協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。 【指導課】	—
算数支援教員 <sup>11</sup> の配置	教育課題支援事業 <sup>12</sup> の一環として、小学校（14校）へ算数支援教員を配置し、算数科における授業づくりの重点的な支援を行います。支援教員と担任とが協働して児童への指導・支援を行い、算数科におけるつまずきの早期解消を通して、児童の学ぶ意欲の向上を目指します。 【教育研究所】	57,277
理科教育支援員 <sup>13</sup> の効果的な活用	児童生徒の理科への興味・関心を高め、科学実験・観察等の充実を図り、実験技能や思考力の向上を目指します。指導主事及び教育専門アドバイザーによる各校への指導助言を行うとともに、理科教育支援員を活用した安全な実験の実施を促していきます。 【指導課】	121,185

<sup>7</sup> みんなでつくる魅力ある学校：「主体的・対話的で深い学び」に向けた教員の授業の指導力向上のため、本市内を4地区に分け、小学校・市立中学校の授業公開や参観，研究協議を行うもの

<sup>8</sup> 全国学力・学習状況調査：文部科学省が全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析等をするために実施する調査。毎年4月に小学6年生及び中学3年生を対象に実施しています。

<sup>9</sup> 柏市学力・学習状況調査：本市独自で実施している調査。令和4年度から実施時期を11月に、対象を小学1年生から中学2年生までに変更し、実施します（令和3年度までは毎年4月に小学2年生から中学3年生までを対象として実施していました。）。

<sup>10</sup> 3面ボードを活用した授業：教室の壁3面に黒板（ホワイトボード）を設置し、記述スペースを増やすことで、学び合い活動の際の、思考の視覚化を効果的に行う授業

<sup>11</sup> 算数支援教員：算数科における授業支援を行うため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

<sup>12</sup> 教育課題支援事業：令和4年度まで実施していた算数科授業力向上事業を発展させた事業。学校及び教職員の課題解決を目的とし、学校の目指す児童像・付きたい力に合わせた学校支援や、教職員個人の希望研修及び研究への支援を行う。

<sup>13</sup> 理科教育支援員：理科授業における指導補助や実験や教材等の準備などを行うため、市費により各学校に配置する会計年度任用職員

取組の方向 1 - 2 英語教育の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
小学校外国語授業支援員 <sup>14</sup> の効果的な活用	担任が小学校外国語授業支援員を効果的に活用する方法、小学校外国語授業支援員の担任・児童に対する有効な支援方法の両面から、研修機会を充実させます。【指導課】	78,662
英語の活用機会の充実	国際交流会やイングリッシュキャンプなどの取組により、児童生徒の英語の活用機会の充実を図ります。【指導課】	114,331
市立小中学校の系統的な英語教育の推進	外国語主任研修会において、小中合同研修を2回実施し、拠点中学校を中心に小中連携の取組を企画・推進します。【指導課】	—

取組の方向 1 - 3 ICTの利活用の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
GIGAスクール構想に基づくICTの効果的な活用の推進	GIGAスクール構想に基づき整備した1人1台端末を中心に、ICTを活用した授業実践を段階的に行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。【指導課】	—
1人1台端末を活用した授業改善検討委員会 <sup>15</sup> による検証事業	1人1台端末を活用した授業改善検討委員会を設置し、情報活用能力の育成を基盤とした教科の中での効果的な活用の検証を進めていきます。【指導課】	158
IT教育支援アドバイザー（ICT支援員）の配置	教材作成や授業準備等の支援を行うIT教育支援アドバイザー（ICT支援員）の配置を拡充し、各学校に週1回（小学校大規模校は週2回）程度派遣できるように進めていきます。【指導課】	90,529

<sup>14</sup> 小学校外国語授業支援員：小学校の教職員に対し、外国語活動及び外国語科の授業や、外国語教育の推進について指導・支援を行うため市費により配置する会計年度任用職員

<sup>15</sup> 1人1台端末を活用した授業改善検討委員会：柏市立学校に所属する校長、教頭、教員で構成する組織。教科の中で1人1台端末をどのように活用するかの先事例の検証を行います。

I C T 活用に係る教職員研修の充実	I C T の活用率の向上に向けて、次のとおり、教職員研修を充実させます。 (1) I C T 活用研修により、1 人 1 台端末の活用方法を紹介、周知するとともに、学習指導の工夫・改善を図り、授業での活用率の向上を目指します。また、児童生徒の情報活用能力（情報モラル <sup>16</sup> を含む）を育む教育等をテーマとした研修講座を開催します。 (2) 年次研修や特別研修において、「I C T を活用した授業づくり」等、実務に生きる研修を実施します。【指導課，教育研究所】	180
柏市情報リテラシー育成カリキュラムの実施	G I G A スクール構想による 1 人 1 台端末の整備に伴い、適切に情報や端末を活用することができる基礎的な知識や技能を児童生徒に身に付けさせるための支援を行います。市立小中学校 9 年間を通じた情報リテラシー育成カリキュラムを活用し、児童生徒の発達段階に応じて指導することで情報リテラシーの育成を図ります。【指導課】	—

#### 取組の方向 1 - 4 学校図書館の活用

事業名	内 容	予算額 (千円)
各教科における学校図書館を活用した授業の推進	学校図書館運営マニュアルの活用や司書教諭及び学校図書館指導員 <sup>17</sup> に対する研修を充実するとともに、教育委員会、学校図書館コーディネーター <sup>18</sup> 、学校図書館指導員の役割を明確にし、児童生徒の学習支援や教員への指導・支援を推進し、さらなる学校図書館の活用を図ります。【指導課】	13,780
読書活動の推進	学年や興味関心に応じた図書の紹介等を通じて、児童生徒の読書活動を推進します。本市のスタンダード本を定めたり、市立図書館と連携し、子ども司書養成講座、帯コレ作品の展示、調べる学習コンクールに取り組んだりします。【指導課】	96

<sup>16</sup> **情報モラル**：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。具体的には、他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任を持つことや、犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解することなど

<sup>17</sup> **学校図書館指導員**：市立小中学校において、学校図書館を活用した授業の支援や、学校図書館の環境整備、児童生徒に対する読書推進などを行うため、市費により各学校に配置する会計年度任用職員

<sup>18</sup> **学校図書館コーディネーター**：学校図書館指導員に対して、学校図書館を活用した授業等の指導、支援を行うため、市費により配置する会計年度任用職員

学校図書館指導員の効果的な活用	学校図書館の整備を図るとともに、自発的・主体的な学びの場、創造的な活動の場としての学校図書館を目指し、教科指導と学校図書館を結び付け、授業づくり支援に携わります。また、読書活動の「読み聞かせ」「ブックトーク」「読書会」「ビブリオバトル」などで児童生徒が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力の育成を図ります。【指導課】	91,923
-----------------	---	--------

取組の方向 1 - 5 運動能力・運動習慣の維持及び向上

事業名	内 容	予算額 (千円)
小学校体育サポート教室事業 <sup>19</sup> の実施	民間スポーツクラブ講師が専門的立場から授業に参加しサポートすることで、児童の苦手な運動の克服や教員の指導力向上を図る事業を実施します。【指導課】	…
運動機会の充実	運動の習慣化を目指し、体づくり運動を中心とした授業改善及び体力向上マネジメントに関する研修を実施します。【指導課】	—
民間施設を活用した水泳指導の実施	市内15校が民間スポーツクラブ施設を利用し、インストラクターによる水泳授業を実施します。【指導課】	55,727

取組の方向 1 - 6 健康教育の充実

事業名	内 容	予算額 (千円)
食育の推進	小中学校における食育の基本目標や重点的な取組を示した「柏市学校における食育方針」に基づいて食育を推進していきます。また、食育の推進に当たっては、教育活動全体で組織的に取り組むことができるよう、カリキュラムや事例等を整理するとともに、食育実施状況調査等を用いて評価しながら、取組の改善を図ります。【学校給食課】	—
ジュニア救命士の育成	消防局と連携し、小学校5・6年生を対象に短期救命講習を実施し、命の大切さを考え、救命法、応急手当の重要性・必要性を身に付ける機会とします。【学校教育課】	—

<sup>19</sup> 小学校体育サポート教室事業：児童が主体的に活動し、成功体験を味わうことや、教師が運動の特性に応じた補助の仕方や運動する場の設定などを学ぶことを目的とし、民間スポーツクラブ講師を派遣する事業

赤ちゃん抱っこ体験	保健所と連携し、思春期保健健康教育の一環として赤ちゃんとその保護者との触れ合いから、赤ちゃんの温かみや誕生の喜び、育児の楽しさや大変さを体感しながら、命の大切さへの理解を深めます。新型コロナウイルス感染症流行以降、本事業が中止しているため、代替の活動等について検討します。【学校教育課】	—
健診情報の電子化	養護教諭会と連携しながら運用方法やデータの活用方法等を検討し、効果的な活用を図ります。【学校教育課】	—

## 取組の方向 1-7 市立高校教育の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市立柏高等学校第三次教育計画に基づく取組の実施	令和6年度は柏市立柏高等学校第3次教育計画実施の3年目となります。目指す学校像「柏で育てる 柏を支える 市立柏高校」を実現させるため、今年度は全学年で情報以外の教科において、学習指導計画に沿ってタブレット等を活用した授業を展開します。 【教職員課、市立柏高校】	—
国際交流活動の充実	本市と姉妹都市提携しているアメリカ・トーランス市から招いた2名の外国語指導助手（ALT） <sup>20</sup> とのティーム・ティーチングによる小人数・習熟度別の語学指導を実施します。2年次には、国際教養クラスを対象にアメリカ・トーランス北高校との間で短期語学研修（ホームステイ）による相互交流を行います。 また、希望者を対象に中国・承德第一中学校又はオーストラリア・シェントンカレッジとの間で短期語学研修（ホームステイ）による相互交流を行います。 【市立柏高校】	—
外国籍生徒の日本語指導	外国人特別入学者選抜で入学した外国籍生徒について、複数科目でティーム・ティーチングのT2として授業理解支援及び日本語教育を行う講師を3名採用し、日本語理解の支援と放課後の補修等を行います。 【市立柏高校】	1,912

<sup>20</sup> 外国語指導助手（ALT）：主に外国語教育の充実を図るため、担任や外国語担当教員等の助手として、市費により配置する外国人指導者（会計年度任用職員又は派遣労働者）。ALTはAssistant Language Teacherの略

教育用コンピュータ・ネットワークの整備充実	<p>教育活動に利用する普通教室等におけるICT機器の整備とネットワーク環境を、GIGAスクール構想に準じ、構築します。</p> <p>市立柏高校では、1人1台のタブレット端末を使用した授業や2つのPC教室での1人1台のパソコンを使用した「IT活用」「社会と情報」「スポーツ概論」や各普通教室及び特別教室でのプロジェクターを使用した授業等、ICTを利活用した授業を積極的に推進します。【市立柏高校】</p>	74,714
スクールバスの維持管理	<p>主に部活動の遠征で利用できるよう、スクールバス5台（中型2台・マイクロ3台）を所有しており、安全で快適な運行ができるよう、適切な車両の維持管理と計画的な車両の更新を進めます。【市立柏高校】</p>	16,506
学校備品の購入	<p>吹奏楽部の楽器を始めとする部活動用の各種備品や、図書館の書籍、教科教材用の備品を計画的に購入します。【市立柏高校】</p>	5,394
市立柏高校施設整備事業	<p>学校施設の老朽化が著しいため、主にグラウンドの排水性の改善や入学希望者の増加を図るために、グラウンドを人工芝に敷設（タータン含む）する工事を進めます。【市立柏高校】</p>	371,576

**施策展開の方向 2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる**

**【令和6年度重点事業】**

**取組の方向 2-1 情報モラル教育の推進**

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市情報モラル育成プログラムの実施	市立小中学校9年間を通じた柏市情報モラル育成プログラムを活用し、「情報技術の役割・影響の理解」、「情報モラル・情報セキュリティの理解」、「責任をもって適切に情報を扱おうとする態度」、「情報社会に参画しようとする態度」など、児童生徒の発達段階に応じて繰り返し指導することで、情報モラルの育成を図ります。【指導課】	5,492
情報モラル講演の実施	実際の危険事例等を基にした講演を実施し、児童生徒には、インターネットの正しい使い方に関する理解を促していきます。 また、保護者向けの講演においては、特に家庭でのスマートフォンの使用ルールの設定等を促していきます。【少年補導センター】	—

**取組の方向 2-2 道徳教育の充実**

事業名	内容	予算額 (千円)
「特別の教科道徳」を核とした道徳教育の実施	質の高い道徳の授業を実施するための教職員研修の充実を図ります。【指導課】	30

**取組の方向 2-3 いじめ防止対策の推進**

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市いじめ防止基本方針及びいじめ問題対応の手引に基づくいじめ防止対策の推進	柏市いじめ防止基本方針及びいじめ問題対応の手引を令和5年度に改訂しました。3年を目途に見直しを継続するとともに、各学校において、いじめの未然防止、早期発見、早期対応が適切になされるよう、いじめ防止対策を推進していきます。【児童生徒課】	4,022

STANDBYの提供及びいじめ防止プログラムの実施（拡大，委託化新規）	ネットいじめの早期発見と抑止力を生み出すための教育を推進します。千葉大学・敬愛大学・STANDBY（令和4年度にSTOP i tから社名変更）と連携して開発した映像教材である「脱いじめ傍観者教育」をテーマとした授業を市立中学校で実施するとともに、いじめを匿名で報告・相談できるアプリ「STANDBY（スタンドバイ）」（令和4年度にSTOP i tから改称）を市立の全中学生及び全小学校6年生に対して導入しています。令和4年度からは、新たに市立柏高校へ導入しました。 さらに、令和6年度より相談業務委託を導入し、心理士等の有資格者から専門的な知見での回答が期待されます。また対象学年を小学校5年生まで拡大し、児童生徒の相談窓口の拡充を進めていきます。 【児童生徒課】	14,271
いじめ防止授業の実施	いじめの未然防止のため、具体的ないじめの事例から、いじめの法的根拠や適切なSOSの出し方等について、児童生徒の理解を深めるための授業を実施します。【児童生徒課】	—
学級がうまく機能しない状況調査の実施	学級がうまく機能しない状況を早期に発見するために、うまく機能しない状況の改善に向けた取組を、学校と連携して進めます。本調査を6月と10月の年2回実施します。【児童生徒課】	—
学級経営アドバイザー <sup>21</sup> 等の配置	経験の浅い講師や学級がうまく機能していない学級担任に対し、学級経営や生徒指導、児童生徒への理解、保護者対応等に関する指導・助言を行うため、管理職経験者を学級経営アドバイザーとして配置します。【児童生徒課】	21,963
人権教育研修等の実施	人権尊重教育担当者研修として、児童生徒の人権や様々な多様性に配慮していくために、学校現場で課題となっているテーマについての研修を行います。こどもの権利条約やこども基本法に則り、学校におけるこどもの権利擁護について、理解の浸透を図ります。【児童生徒課】	—
いじめ防止サミット <sup>22</sup> の実施	いじめ防止啓発月間の取組として、市立中学生による「いじめ防止サミットKASHIWA」を実施します。各中学校代表生徒が、いじめについて主体的に深く考え、議論する機会とします。さらに、サミットで学んだことを各学校で周知し、いじめ防止に向けた取組を実践します。【児童生徒課】	37

<sup>21</sup> 学級経営アドバイザー：経験の浅い教職員へのサポートや保護者対応、学級が機能しなくなった状態（いわゆる学級崩壊）への対応及びいじめ問題解決に向けての訪問相談等を行うため、市費により配置する会計年度任用職員（校長経験者）

<sup>22</sup> いじめ防止サミット：「柏市児童虐待及びいじめ防止条例」において、毎年12月を「いじめ防止啓発月間」と定め、この一環として行う取組。各中学校から代表生徒を集め、いじめを防止するための学校での取組等を話し合う場です。



スクールロイヤ ーの配置（新 規）	法の専門家である弁護士が、いじめ等様々なケースに対する適切な対応について、学校や教育委員会に対し、法的側面から相談や助言を行い、いじめ重大事態等の未然防止につなげていきます。また法の理解を深める教職員等への研修や、児童生徒及び保護者に対し、法的視点からのいじめ防止授業や講演についても実施します。【児童生徒課】	2,593
-------------------------	---	-------

## 取組の方向 2-4 不登校等児童生徒への支援の充実

事業名	内容	予算額 (千円)
教育支援センターによる支援の実施	令和5年度より学習相談室を教育支援センターと改称し、さらに北部地区の拠点として教育支援センター柏たなかを新設し、運用を開始しました。きぼうの園を中心として北部（柏たなか）、中部（豊四季台）、南部（増尾台）、東部（大津ヶ丘）の各地区の教育支援センターが連携し、不登校児童生徒にとって家庭と学校以外の居場所として教育相談や学習支援、仲間との関わりの機会を支援します。各地区の教育支援センターにおいては、家庭訪問による相談事業を実施しています。また、学校・家庭・教育支援センター・福祉機関等をつなぐ役割を果たすスクールソーシャルワーカーとも連携し、不登校児童生徒や保護者を支援します。【児童生徒課】	43,426
オンラインによる学習支援	教育支援センターでは、インターネット環境を整備し、ICTによる学びが可能となっています。児童生徒の実態に応じて、在籍する学校の授業を受けたり、eboardなどのコンテンツを利用して学習に取り組むことができます。教育支援センター指導員 <sup>23</sup> が新しい学習スタイルに対応できるよう研修を行っていきます。【児童生徒課】	120
個別支援教員（生徒指導・不登校支援）の配置	校内で問題行動の見られる生徒や別室登校をしている生徒等、個別の支援を要する生徒に対応するため、市立中学校に個別支援教員（21名）を配置します。【児童生徒課】	79,984
スクールソーシャルワーカーの配置	スクールソーシャルワーカーを各中学校区へ配置して、福祉的支援を要する児童生徒への支援を行います。【児童生徒課】	109,018

<sup>23</sup> 教育支援センター指導員：長期欠席児童生徒及びその保護者に対する家庭訪問による支援（きぼうの園は除く）、教育支援センターに通室する児童生徒に対する学習指導や教育相談をはじめとして居場所づくり、教職員との連携などを行うため、市費により配置する会計年度任用職員

社会的自立に向けた取組の実施	不登校児童生徒は、集団での人との関わりが希薄になりがちです。そこで、市内不登校児童生徒を対象とした交流活動として、あすなるキャンプ <sup>24</sup> 、自然体験学習等を実施します。【児童生徒課】	240
フリースクールとの連携の推進	教育支援センター運営委員会（年2回開催）において、教育支援センター、地区の学校長とフリースクールの関係者が集まり、市の長欠に対する方針の確認や情報共有などを行い、連携を図ります。【児童生徒課】	—
不登校児童生徒の保護者への支援	教育支援室では、心理士や教員経験者等が不登校に関する相談を受け付けます。また、教育支援センターにおいても、相談を随時受け付けています。 「ひまわりの会」 <sup>25</sup> を年3回実施し、不登校や登校渋りに悩む保護者が集まり、座談会や相談会、講演等を実施しています。 学校においては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、不登校児童生徒や保護者の相談、学校との連携を行います。【児童生徒課】	25,845
児童虐待の所管部署との連携	スクールソーシャルワーカーを各中学校区に配置することで、学校と様々な関係機関との連携した支援を行っていきます。【児童生徒課】	—
学習面・生活面でのきめ細かな支援（小学校低学年支援）	1学級当たりの児童数の多い学校等の小学校低学年に、低学年支援教員 <sup>26</sup> を配置し、学習面・生活面でのきめ細かな支援をしていくことで、後々の学習面・生活面に良い影響を与え、いじめ・不登校の防止や学力の向上につなげます。【指導課】	116,483
夜間中学の調査研究	先進市の開校・運営状況等を踏まえながら、引き続き、調査・研究を行っていきます。【教育政策課】	7

<sup>24</sup> あすなるキャンプ：市内小中学校に在籍する、長期欠席児童生徒を対象に行うキャンプ。職場体験や自然体験などを通して集団で協力することや達成感を味わえるような内容を毎年企画しています。

<sup>25</sup> ひまわりの会：教育委員会主催による、市立小中学校に在籍及び市内に在住する不登校児童生徒の保護者を対象とした集い。不登校についての情報提供、保護者同士の座談会、不登校経験者や支援を行う方による講演会などを実施しています。

<sup>26</sup> 低学年支援教員：小学校1・2年生の授業補助、生活補助などを行うことにより、児童の実態に応じたきめ細かな指導を実施し、学ぶ意欲の定着につなげるために、市費により配置する会計年度任用職員で教員免許を有する者

取組の方向 2 - 5 特別支援教育の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
教育支援員の配置	特別支援学級を中心として、各市立小中学校の実態に応じて、適切に教育支援員を配置し、該当児童生徒の学習や生活上の支援を行います。(119名分)【児童生徒課】	340,103
個別支援教員(特別支援) <sup>27</sup> の配置	小学校に個別支援教員を配置し、通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童を中心に、学習や生活上の支援を行います。(18名)【児童生徒課】	68,859
個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	特別支援学級在籍児童生徒、通級による指導を受けている児童生徒、その他作成の必要のある児童生徒について個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、より適切な支援を行います。【児童生徒課】	—
通常の学級と特別支援学級との間の連続性の確保	連続性のある「多様な学びの場」と支援の充実を目指し、特別支援学級在籍児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習等を行います。また、全ての児童生徒の実態に応じた校内支援体制の構築とともに、通常の学級と特別支援学級の間で、双方向性のある適切な転級を進めます。【児童生徒課】	—
医療的ケアの体制整備	医療的ケアが必要な児童生徒に対し、医療的ケア看護師の配置や、医療的ケアコーディネーターの巡回、訪問看護ステーションとの委託契約、柏市医師会との協定による医療的ケア指導医の巡回を行う等、安全・安心な医療的ケアの実現を目指します。【児童生徒課】	45,572

取組の方向 2 - 6 幼保こ小連携の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
柏市幼保こ小連絡協議会 <sup>28</sup> による連携	幼保こ小当番校・園連絡協議会が中心になって連携の在り方を協議し、それを基に幼保こ小地区別連絡会 <sup>29</sup> (市内10地区)を開催して連携を推進します。【教育研究所】	—

<sup>27</sup> 個別支援教員(特別支援)：小学校において、通常の学級で特別な支援を要する児童に対して、学級への入り込みによる指導(支援)及び必要に応じて週1～2時間程度の個別の学習支援を行うことにより、児童の生活・学習上の困難を改善又は克服につなげるため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

<sup>28</sup> 柏市幼保こ小連絡協議会：幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指し、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校の相互理解と連携の充実を図るための組織。各地区(10地区)から幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の関係者が参加しています。協議会全体としての協議、情報収集、啓発活動のほか、地区別連絡会を開催し、各小学校区における交流活動を推進しています。

<sup>29</sup> 幼保こ小地区別連絡会：柏市幼保こ小連絡協議会の運営計画に基づき、市内10地区において参観や協議会を行う組織

スタートカリキュラム <sup>30</sup> の活用の促進	幼稚園・保育園・認定こども園での学びと小学校との学びが緩やかに移行し、円滑な接続を実現するためのスタートカリキュラムについて、研修会等を開催し、理解・活用を促進します。【教育研究所】	—
---------------------------------	---	---

#### 取組の方向 2-7 保護者の経済的負担の軽減

事業名	内容	予算額 (千円)
就学援助費の支給	経済的な理由で就学が困難な家庭に対し、学用品費の支給など経済的支援を実施します。【学校教育課】	151,784
柏市の実情に応じた就学援助制度の在り方の検討	柏市の実情に合った制度の在るべき姿を、現状の分析や中核市等における事例の研究を通じて検討します。【学校教育課】	—
就学援助申請方法の改善	保護者の利便性の向上と学校事務員の負担軽減を図るため、電子申請の範囲を拡大します。【学校教育課】	—
柏市制服バンク	就学援助支給世帯を対象とした制服リユース事業を実施します。【学校教育課】	131

#### 取組の方向 2-8 外国籍の子ども等に対する支援

事業名	内容	予算額 (千円)
外国語での就学案内の送付及び就学状況の把握	就学年齢に達する前年の外国籍児童生徒に対し、入学通知書発送時に外国語での就学案内を同封し、就学を促します。また、出入国在留管理局への出入国照会等により、外国籍児童生徒の就学状況の把握を行います。【学校教育課】	—
日本語指導の実施	関係団体と連携を図り、帰国・外国人児童生徒への日本語指導の支援を行います。【指導課】	8,000

<sup>30</sup> スタートカリキュラム：接続期カリキュラムのうち、小学校1年生入学当初のカリキュラム。本市の小学校では、これまでも入学当初の指導を工夫してきていますが、各小学校のこれまでの取組を踏まえつつ、生活科を中心とした指導を工夫し、さらに教育課程全体を視野に入れて取り組めるように推進しています。

取組の方向 2 - 9 学校規模の適正化

事業名	内容	予算額 (千円)
児童生徒数の増加による教室不足への対応	柏北部東地区の人口増加に伴う生徒数の急増に対応するため、田中中学校の校舎増築を前年度に引き続き行います。また、将来的に教室不足が見込まれる柏の葉小と柏七小の増築校舎の設計等に着手します。児童生徒数が増加しているその他の学校についても、受け入れに必要となる改修工事等を行います。【教育政策課、教育施設課、学校財務室】	3,112,748

取組の方向 2 - 1 0 学校施設・設備の維持管理

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市立学校施設個別施設計画に基づく老朽化対策の実施	校舎長寿命化改良の設計を1校（高田小）、工事を2校（西原小、柏四中）、また、大規模改修工事の設計を2校、工事を2校（柏四小、柏五中）で行います。屋内運動場については、長寿命化改良の設計を2校、工事を2校（柏七小、松葉二小）で行います。【教育施設課、学校財務室】	3,010,737
学校施設整備計画の改定（新規）	平成31年3月に策定した柏市立学校施設個別施設計画について、第一期（令和7年度まで）の実情を踏まえた計画の見直し作業を2か年にわたって実施します。【教育施設課】	13,700
市立柏高校施設整備事業	学校施設の老朽化が著しいため、主にグラウンドの排水性の改善や入学希望者の増加を図るために、グラウンドを人工芝に敷設（タータン含む）する工事を進めます。【市立柏高校】（再掲）	371,576

取組の方向 2 - 1 1 安全・安心でおいしい給食の提供

事業名	内容	予算額 (千円)
学校給食施設への空調設備の設置（新規）	学校給食調理員の熱中症対策として、学校給食施設に空調設備を設置します。【学校給食課】	—
学校給食施設の改修及び更新	令和6年3月に策定した「柏市学校給食施設整備計画」に基づき、老朽化した学校給食センターの建替え及び自校方式の給食施設の改修等を進めます。令和6年度は柏第三小学校給食室の移設工事、高田小学校給食室の設計及び学校給食センターの建替えを進めます。【学校給食課、教育施設課】	121,600

食物アレルギー対策	食物アレルギーに関するヒヤリハット情報に基づき注意喚起を行うとともに、注意事項や適切な対応に関する教職員の理解度調査アンケートを実施し、危機管理意識を高めていきます。また、事故発生時に迅速かつ適切に対応できるよう、各校で校内研修を行います。【学校給食課，学校教育課】	—
学校給食費の補助	物価高騰による食材価格の上昇に対応するため、令和6年4月から給食費を改定しますが、令和6年度は保護者の経済的負担の増加に配慮し、引き上げ分の全額を公費負担します。【学校給食課，学校給食センター】	435,636

## 取組の方向 2-1-2 防災体制の強化

事業名	内容	予算額 (千円)
学校における防災体制の強化	各学校における効果的な訓練等実施に向けた取組を推進するよう支援します。【児童生徒課】	—
災害対応体制整備	避難所開設に当たっての簡易マニュアル作成を順次行うほか、浸水想定区域等に位置する学校の対応マニュアル作成を支援します。【児童生徒課】	—
地域と連携した訓練等の実施	地域と連携した訓練や、災害時に学校と地域が連携するための協議・検討の場づくりを支援します。【児童生徒課】	—

## 施策展開の方向3 教職員の力量・学校の組織力を高める

### 【令和6年度重点事業】

#### 取組の方向3-1 教職員の育成

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市教職員人材育成指針に基づく人材育成の推進	柏市人材育成指針・指標の改定に伴い、各学校の教育課題を解決するために必要なマネジメント力の育成を目指して年次研修を体系化し、より実効性のあ る研修として実施します。【教育研究所】	3,064
実効性のある人材育成体制の整備	各研修の効果を定量的・定性的に測定し研修内容を精選するとともに、OJTとOff-JTの連動等、実効性のある人材育成体制となるよう整備しま す。【教育研究所】	—
人材育成アドバイザー <sup>31</sup> の配置	年次研修における研修講師や、学校管理職に対し学校経営などに関する助言・支援を行う人材育成アド バイザーを配置します。【教育研究所】	—
学校・教員個人の課題解決支援	教育課題支援事業の一環として、算数科の授業づくりや学力調査結果の活用等に関するミニ研修講座を 行います。短時間・オンライン等の参加しやすい開催方法とすることで、学校・教員個人の課題解決を 支援します。【教育研究所】	—

#### 取組の方向3-2 働き方改革の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
教育委員会・学校の連携による負担軽減策の検討	各校で進んでいる働き方改革について継続的に把握し、校長会や教頭会、モラールアップ代表者会議 <sup>32</sup> において好事例を共有することで、市内の業務改善を一層推進します。さらに、教育委員会主催の会議 や研修のオンライン化、市教委への提出物の精選・効率化を図ります。【教職員課】	—
校務の情報化の推進及び新校務支援システムの導入	教職員の作成する成績データを一元管理することで、セキュリティの向上を図ります。また、新校務 支援システムの導入により教職員の校務の効率化と、教職員の児童生徒一人一人に対するきめ細かな 指導のさらなる推進を図ります。【指導課】	61,726

<sup>31</sup> 人材育成アドバイザー：学校管理職に対し、学校経営などに関する助言・支援を行う市費配置の一般職  
任期付短時間勤務職員

<sup>32</sup> モラールアップ代表者会議：市立全小中学校からの代表者で構成する、教員の士気やメンタルヘルスの  
向上、働き方改革の推進について協議する会議

養護教諭の負担軽減	養護教諭の負担を軽減するため、養護教諭支援員3名を配置し、学校保健業務を支援します。【学校教育課】	6,840
教職員の部活動に関する負担軽減	部活動の地域移行を推進するため、柏市部活動地域移行支援事業を実施します。また、部活動指導へのサポートに関する事業にも継続して取り組みます。【指導課】	32,439
学校給食費の公会計化	学校給食費の徴収に係る教職員の負担軽減、市民サービスの向上等を目的として、学校給食費の公会計化を進めます。【学校給食課】	19,866



## 施策展開の方向 4 地域・家庭とともにある学校をつくる

### 【令和 6 年度重点事業】

#### 取組の方向 4-1 学校・地域・家庭の連携

事業名	内容	予算額 (千円)
学校運営協議会の設置	令和元年度から、順次学校運営協議会を各校に設置し、令和5年度には、市立全小中学校63校がコミュニティ・スクールとなりました。学校、地域、家庭の三者が連携して学校運営に取り組む「地域とともにある学校」を目指します。【学校教育課】	1,545
地域学校協働活動 <sup>33</sup> の推進	学校運営協議会で話し合った内容が、地域ごとの特色ある活動につながることを目指します。併せて、学校、地域、家庭がスムーズに連携できるよう支援していきます。【学校教育課】	2,525
地域学校協働活動推進員の配置	令和5年度より、地域学校協働活動推進員 <sup>34</sup> の配置を順次進めています。また、今後も継続して地域学校協働活動推進員養成講座を開催し、将来的には各協議会に1名の配置を目指します。【学校教育課】	3,264
放課後子ども教室の拡充	学校・地域・家庭と連携し、放課後の子どもの安全・安心で、子どもが自分らしく過ごせる居場所を拡充します。また、多様な学びや体験活動等ができるよう取り組みます。【生涯学習課】	36,042
みんなの子育て広場 <sup>35</sup> の充実	学校・家庭・地域が協力して、研修会や通信発行等を実施することにより情報交換や不安の解消、仲間作りの支援を行います。【生涯学習課】	6,830
教育福祉会館の自律（立）的運営や公民館事業を通じた人材育成	令和3年にリニューアルした教育福祉会館において、教育分野と福祉分野との連携を図りながら、多世代交流や地域共生をキーコンテンツとして、地域課題の発掘から解決に向けたアプローチや、具体的なモデル事業の創出を行えるような市民主体の運営の実施を目指した事業展開に取り組めます。また、その実施に必要な人材の育成や体制の整備などを行っていきます。【中央公民館】	147

<sup>33</sup> 地域学校協働活動：幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動の総称

<sup>34</sup> 地域学校協働活動推進員：学校運営協議会と連動し、地域ぐるみで学校を支援するためのパイプ役となる者

<sup>35</sup> みんなの子育て広場：子育て中の保護者が情報交換を通じて、仲間づくりや不安・悩みの解消ができるよう開催される話し合いの場。学校における各種説明会や授業公開など様々な機会を利用して開催されています。保護者、地域住民、教職員が「支援者」として、自主的に企画・運営しています。

<p>中高生世代の居場所づくり</p>	<p>子ども・子育て支援複合施設「TeToTe」の5階に「中高生世代の居場所」の事業を予定しており、令和6年度は施設の改修等、年内の開所を目指し必要な準備を進めます。 中高生世代の若者が放課後や休日に気軽に利用することができ、安全・安心に自分らしく過ごせる「居場所」の創出に取り組みます。【生涯学習課】</p>	<p>6,380</p>
---------------------	---	--------------

## Ⅱ 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

### 目指す方向性

- ・子どもたちが健やかに成長するように
- ・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
- ・すべての人が学べる環境に包まれるように

### 【令和6年度重点事業】

「はじめるきっかけ」を支援

事業名	内 容	予算額 (千円)
学校支援ボランティア <sup>36</sup>	学校支援ボランティアの充実を図ります。併せて、学校支援ボランティアが安心安全に活動できるよう、損害保険に加入しています。【学校教育課】	909

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

事業名	内 容	予算額 (千円)
放課後子ども教室の拡充	学校・地域・家庭と連携し、放課後の子どもの安全・安心で、子どもが自分らしく過ごせる居場所を拡充します。また、多様な学びや体験活動等ができるよう取り組みます。【生涯学習課】（再掲）	36,042
地域情報の拠点化事業	世代交代等により、市民が保管している地域の歴史や活動を記録した資料が急速に失われていることに強い危機感を持っています。これらの地域資料を収集・整理して、次の世代に引き継ぎます。 地域の特色ある資料を各分館に集積し、地域情報コーナーを設置して排架することにより、自分たちの住む地域の再発見や、地域への関心や愛着を持ってもらうなど、分館が地域情報の拠点として機能することを目指します。【図書館】	379
地域学校協働活動	学校運営協議会で話し合った内容が、地域ごとの特色ある活動につながるよう学校・地域・家庭の連携を図ります。【学校教育課】	2,525

<sup>36</sup> 学校支援ボランティア：保護者や地域住民など、子どもの安全対策や学習支援、環境整備などに従事するボランティア

「ひろく伝えたい」を支援

事業名	内容	予算額 (千円)
地域づくり事業	学びを通じたQOLの向上とともにライフステージにおける生活課題や地域課題解決のための学習機会を提供することにより、その学習成果を主体的なまちづくりにつなげます。具体として、様々な生活課題や地域課題に着目し、例えば地域の歴史・文化の継承活動や環境整備活動などのボランティアとして活躍できるよう、人材の育成を目的とした意識啓発やスキル習得に関する講座等を実施します。【中央公民館】	2,300
地域学校協働活動の推進	地域学校協働活動を推進するため、学校運営協議会委員向けの研修を行います。また、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員の養成を行うための研修を開催します。【学校教育課】	80

情報提供による学びの支援

事業名	内容	予算額 (千円)
生涯学習情報提供システム	生涯学習施策に係る事業及び生涯学習関連団体の事業等をインターネットにより情報提供し、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。【生涯学習課】	—
ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	公民館・近隣センター等における受講、自宅でのPC受講など、様々なツールを利用できる学習コンテンツの提供と情報提供を行うことにより、ライフスタイルに合わせた学習機会を拡充します。【生涯学習課】	—

### Ⅲ 文化の薫るまちづくり

#### 施策展開の方向 1 身近に感じる芸術文化と活動の推進

##### 【令和6年度重点事業】

- ・誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり
- ・芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市文化祭	市民・団体の芸術文化活動の発表及び鑑賞の場を提供します。 特に学生の参加を促し、世代を超えた交流を推進します。【文化課】	6,007
アウトリーチコンサート	身近な場所で気軽に音楽を楽しんでもらうことを目的に地域の施設を利用した小規模コンサートを開催し、「音楽の街かしわ」が実感できる機会を提供します。【文化課】	1,440
文化施設の活用促進	柏市民ギャラリーをはじめとする指定管理者と連携し、市民の芸術文化活動の発表及び鑑賞の場としての機会を提供していきます。【文化課】	16,471
JOBAN アートライン	JOBAN アートライン協議会及び JOBAN アートラインかしわと官民連携し、アートを主軸に常磐線沿線地域の活性化を目的とする事業を展開していきます。【文化課】	552
市所蔵美術品の展示機会の拡大	郷土資料展示室だけでなく、柏駅前の柏市民ギャラリーにおいて市所蔵美術品の企画展を行い、作品に触れる機会を増やします。【文化課】	848

- ・柏らしさを活かしたまちづくりの推進
- ・芸術文化振興のための環境づくり

事業名	内容	予算額 (千円)
かしわ塾[管・打楽器（吹奏楽）音楽教室]	市立柏高等学校吹奏楽部の協力の下、小中学生対象のワークショップを開催し、世代間の交流を通して技術の向上と人材育成を図ります。【文化課】	359
中学音楽鑑賞教室	生徒たちが間近に本物のオーケストラの演奏を体感する機会を提供し、音楽活動へのかん養を促します。【文化課】	4,172

子ども向け芸術鑑賞会	子どもたちが芸術文化に親しみ体感する機会づくりとして、一番身近な小学校へ柏市ゆかりのアーティストが赴き、体験型の鑑賞会を行う機会を拡充します。【文化課】	450
柏ゆかりのアーティストによるワークショップ	柏市ゆかりの芸術家を講師として招き、アートワークショップを実施します。アートに親しむ機会の創出や、アートを通じたコミュニケーションの輪を広げることを目指します。【文化課】	93

## 施策展開の方向 2 歴史資料・文化財の保存と活用の推進

### 【令和6年度重点事業】

#### 文化財の調査及び保存と活用の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市文化財保存 活用地域計画に 基づく保存・活 用の推進	計画推進協議会において、関係団体・市民と連携・協働した活用事業を推進します。併せて、計画的な文化財の保存に努めます。 旧吉田家住宅茅葺屋根修理工事，旧根戸分署外壁改修工事を行います。【文化課】	74,544
埋蔵文化財の発 掘調査	現地踏査，試掘及び確認調査により埋蔵文化財の把握に努め，保護と開発との調整を図ります。現状保存を見込めない場合は発掘調査（本調査）を実施し，復元整理の後，報告書を刊行します。【文化課】	34,067
各種文化財の管 理・継承	所管する文化財を維持管理するとともに，指定文化財の管理者や民俗芸能団体に対して管理や継承の支援を行います。【文化課】	28,324

#### 市史編さん事業の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
市史の戦後聞取 り集の作成	柏市が大きく発展した戦後以降の市史について，聞き取り調査による冊子作成に向けて具体的な協議や手段を検討していきます。【文化課】	300

#### 歴史資料・文化財に接することができる場と機会の提供

事業名	内容	予算額 (千円)
市史啓発事業	柏市制施行70周年記念事業として「柏学検定」を実施するほか，次世代を担う学生を中心に市史の出前講座を実施し，市史の啓発と浸透を図っていきます。【文化課】	756 ※広報広聴 課予算
郷土資料展示室 における企画展 示	郷土資料展示室における文化財や美術工芸品等の展示を通して，柏の歴史や魅力を広く市民に紹介します。【文化課】	1,887

<p>歴史資料の保存 と活用</p>	<p>郷土史ポータルサイトを通して、視聴者にとって見やすく分かりやすい情報発信に努めていきます。また、広く市民に活用いただけるように、資料の収集・整理にあわせてデジタルアーカイブの拡充を進めます。【文化課】</p>	<p>8,424</p>
------------------------	---	--------------



## IV 図書館サービスの充実

施策展開の方向 「学び・共有・創造活動」の支援を通じて、「ひと」と地域を育む

### 【令和6年度重点事業】

子どもの学びを支援する

事業名	内容	予算額 (千円)
こども図書スペース事業	令和6年12月の開設を目指し、子ども・子育て支援複合施設4階で、主に小学生を対象に、子どもたちが一人でも、複数でも、安全・安心に楽しく過ごせる居場所で本との接点を増やす取り組みを、市長部局の子育て担当部門と連携しながら進めていきます。【図書館】	6,820
学校及び学校図書館の支援	貸出依頼のあった資料を学校図書館へ提供します。また、学校図書館関係者等との意見交換を定期的に行います。【図書館】	—

ひとづくり・地域づくりを支援する

事業名	内容	予算額 (千円)
地域情報の拠点化事業	世代交代等により、市民が保管している地域の歴史や活動を記録した資料が急速に失われていることに強い危機感を持っています。これらの地域資料を収集・整理して、次の世代に引き継ぎます。 地域の特色ある資料を各分館に集積し、地域情報コーナーを設置して排架することにより、自分たちの住む地域の再発見や、地域への関心や愛着を持ってもらうなど、分館が地域情報の拠点として機能することを目指します。【図書館】（再掲）	379

情報発信・DXの推進

事業名	内容	予算額 (千円)
情報発信の推進	ホームページやSNS、企画展示等を最大限活用し、図書館の取組や地域資料などを広く市民に発信し、市民と共有していきます。【図書館】	—

D X の推進	<p>デジタル技術を活用し，図書館利用者に対する利便性の向上を図るため，柏市電子図書館サービスを令和5年1月から，スマート登録(利用登録等の電子申請)を令和5年5月から開始しました。令和6年度はこれらのサービスの利用促進を図っていきます。</p> <p><b>【図書館】</b></p>	—
---------	---	---

## V その他

### 【令和6年度重点事業】

#### 計画等の策定

事業名	内容	予算額 (千円)
次期柏市教育振興計画の策定	新たに策定された国の第4期教育振興基本計画に基づき、学校教育を中心に、家庭や地域における教育活動も含めた計画を策定します。計画期間は、令和8年度から令和12年度までとします。 【教育政策課】	5,387
柏市未来につながる魅力ある学校づくり基本方針の策定	今日的な教育課題や児童生徒数の減少見込み等を踏まえ、将来における「新しい学校のあり方」を幅広い視点で検討し、『より良い教育環境の確保』と『教育の質の向上』を図ることを目的として、関係部局と連携を図り『柏市未来につながる魅力ある学校づくり基本方針』を策定します。【教育政策課】	16,177

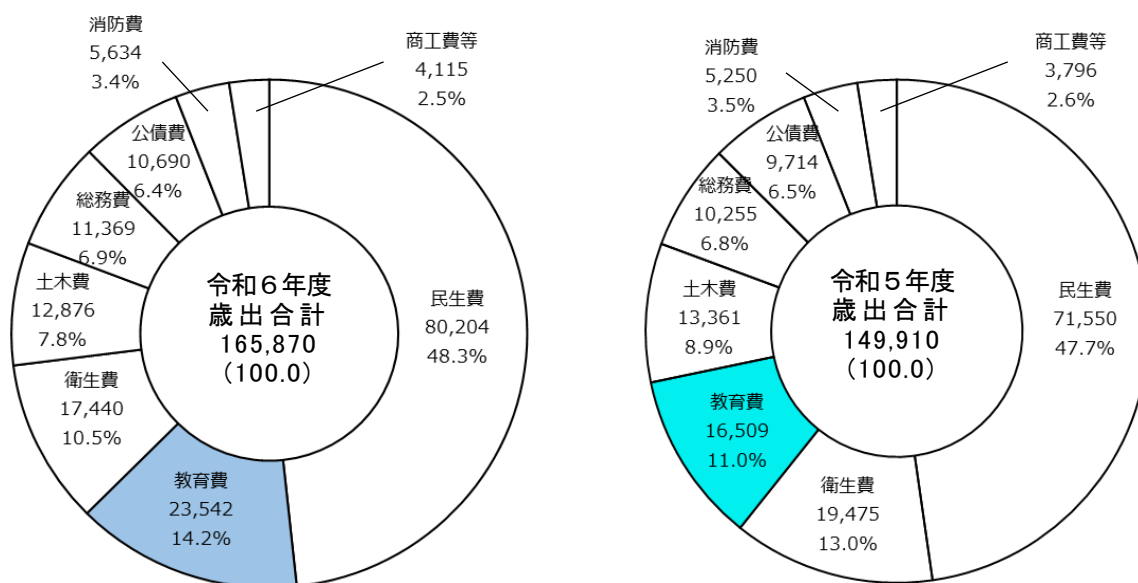
### 3 令和6年度柏市一般会計当初予算における教育費の概要

(1) 歳出予算総額に占める教育費の割合

(単位／千円，%)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較	伸び率
一般会計予算総額	165,870,000	149,910,000	15,960,000	10.6
教育費	23,542,469	16,508,516	7,033,953	42.6
教育費比率	14.2	11.0		

歳出予算内訳



単位：100万円

## (2) 教育費の目的別内訳

(単位／千円, %)

区 分	令和6年度		令和5年度		比較	伸び率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育総務費	3,979,150	16.9	3,464,244	21.0	514,906	14.9
小学校費	3,594,454	15.3	3,328,956	20.2	265,498	8.0
学校管理費	1,649,388	7.0	1,437,323	8.7	212,065	14.8
教育振興費	572,166	2.4	586,789	3.6	△ 14,623	△ 2.5
学校建設費	1,372,900	5.8	1,304,844	7.9	68,056	5.2
中学校費	6,829,057	29.0	1,993,465	12.1	4,835,592	242.6
学校管理費	1,098,013	4.7	808,504	4.9	289,509	35.8
教育振興費	336,999	1.4	313,834	1.9	23,165	7.4
学校建設費	5,394,045	22.9	871,127	5.3	4,522,918	519.2
高等学校費	1,303,038	5.5	942,139	5.7	360,899	38.3
学校管理費	850,332	3.6	829,988	5.0	20,344	2.5
教育振興費	81,130	0.3	85,950	0.5	△ 4,820	△ 5.6
学校建設費	371,576	1.6	26,201	0.2	345,375	1318.2
幼稚園費	3,117,441	13.2	2,778,750	16.8	338,691	12.2
社会教育費	1,323,480	5.6	1,082,026	6.6	241,454	22.3
保健体育費	3,395,849	14.4	2,918,936	17.7	476,913	16.3
教育費合計	23,542,469	100.0	16,508,516	100.0	7,033,953	42.6

## (3) 児童生徒数

(単位／人, %)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較	伸び率
小学校	22,056	21,948	108	0.5
中学校	10,281	10,538	△ 257	△ 2.4
高等学校	948	891	57	6.4

※ 児童生徒数は、令和6年度は令和6年4月1日の見込み数値、令和5年度は令和5年5月1日の学校基本調査の数値

(4) 児童生徒 1 人当たりの教育費

(単位／円，%)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	比較	伸び率
小学校	162,969	151,675	11,294	7.4
中学校	664,241	189,169	475,072	251.1
高等学校	1,374,513	1,057,395	317,118	30.0

※ (2)教育費の目的別内訳の小，中，高等学校費それぞれを，(4)の児童生徒数で除した数値

(5) 児童生徒 1 人当たりの教育振興費

(単位／円，%)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	比較	伸び率
小学校	25,942	26,735	△ 793	△ 3.0
中学校	32,779	29,781	2,998	10.1
高等学校	85,580	96,465	△ 10,885	△ 11.3

※ (2)教育費の目的別内訳の小，中，高等学校それぞれの教育振興費を，(4)の児童生徒数で除した数値



令和6年度  
柏市教育行政重点化方針

令和6年3月発行

編集・発行／柏市教育委員会  
教育総務部教育総務課  
柏市大島田48番地1  
04-7191-7389